

# 四半期報告書

(第85期第2四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

はごろもフーズ株式会社

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 ..... 1
- 2 事業の内容 ..... 1

### 第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク ..... 2
- 2 経営上の重要な契約等 ..... 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 ..... 3

### 第3 提出会社の状況

#### 1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 ..... 5
- (2) 新株予約権等の状況 ..... 5
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 ..... 5
- (4) ライツプランの内容 ..... 5
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 ..... 5
- (6) 大株主の状況 ..... 6
- (7) 議決権の状況 ..... 6

#### 2 役員の状況 ..... 7

### 第4 経理の状況 ..... 8

#### 1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 ..... 9
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... 11
  - 四半期連結損益計算書 ..... 11
  - 四半期連結包括利益計算書 ..... 12
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ..... 13

#### 2 その他 ..... 18

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報 ..... 19

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第85期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 溝口 康博
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054) 354-5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054) 354-5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） はごろもフーズ株式会社東京支店 （東京都調布市小島町一丁目32番2号 京王調布小島町ビル） はごろもフーズ株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄） はごろもフーズ株式会社大阪支店 （大阪府大阪市都島区片町二丁目2番48号 J E I 京橋ビル）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第84期 第2四半期 連結累計期間	第85期 第2四半期 連結累計期間	第84期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（千円）	38,114,419	37,597,170	73,371,650
経常利益又は経常損失（△） （千円）	△428,482	342,816	△1,087,601
四半期純利益又は四半期（当期） 純損失（△）（千円）	△420,945	2,352,194	△2,601,148
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	△808,445	262,129	△1,820,117
純資産額（千円）	20,824,249	19,789,694	19,670,182
総資産額（千円）	48,503,300	45,067,079	47,369,515
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期（当期）純損失 金額（△）（円）	△22.35	124.90	△138.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	42.9	43.9	41.5
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	183,132	53,854	1,152,623
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△780,953	1,932,124	△1,056,397
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	443,272	△2,029,081	△110,407
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	730,299	829,111	872,361

回次	第84期 第2四半期 連結会計期間	第85期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額（△） （円）	△20.43	121.93

- （注） 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高は消費税等は含みません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、第84期連結会計年度および第84期第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期（当期）純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。第85期第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また主要な関係会社に異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

平成25年3月期の有価証券報告書（平成25年6月27日提出）に記載の内容から重要な変更がないため、記載を省略しています。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況及びキャッシュ・フローの状況

##### ①業績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループは、コーポレートメッセージである「人と自然を、おいしくつなぐ」をテーマに企業活動に取り組みました。

特に、収益の改善を最優先課題とし、生産・販売一体となって原料価格の高騰している「ツナ」製品等の値上げ、製造コスト・販売費の圧縮、一般管理費の削減等に努めました。

この結果、売上高は375億97百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は△91百万円（前年同期は△8億4百万円）、経常利益は3億42百万円（同△4億28百万円）となりました。四半期純利益は投資有価証券の一部売却等があり23億52百万円（同△4億20百万円）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていないませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

（単位：千円、%）

製品群			前第2四半期		当第2四半期		増減	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	率
製品	家庭用食品	ツナ	16,240,971	42.6	16,144,904	42.9	△96,066	△0.6
		デザート	2,243,394	5.9	2,476,473	6.6	233,079	10.4
		パスタ&ソース	3,845,640	10.1	3,535,604	9.4	△310,036	△8.1
		総菜	3,447,545	9.0	3,345,572	8.9	△101,973	△3.0
		削りぶし・海苔・ふりかけ類	2,904,089	7.6	2,449,118	6.5	△454,970	△15.7
		ギフトセット・その他食品	2,141,307	5.6	2,046,583	5.5	△94,723	△4.4
		計	30,822,948	80.8	29,998,256	79.8	△824,691	△2.7
	業務用食品	6,016,810	15.8	6,295,662	16.7	278,851	4.6	
	ペットフード・バイオ他	980,605	2.6	974,936	2.6	△5,669	△0.6	
	計	37,820,364	99.2	37,268,855	99.1	△551,509	△1.5	
その他	294,054	0.8	328,315	0.9	34,260	11.7		
合計	38,114,419	100.0	37,597,170	100.0	△517,249	△1.4		

(注) 1. 上記金額は消費税等を含みません。

2. 前期まで「ツナ」に計上していた一部製品を、今期より「総菜」に変更しました。前年同期実績についても、当該分548,386千円を「ツナ」から「総菜」に組み替えています。

3. 前期まで「ギフトセット・その他食品」に計上していた一部製品を、今期より「削りぶし・海苔・ふりかけ類」に変更しました。前年同期実績についても、当該分121,688千円を「ギフトセット・その他食品」から「削りぶし・海苔・ふりかけ類」に組み替えています。

「ツナ」では、価格改定や容量変更により販売数量は前年実績を下回りましたが、「ちびまる子ちゃん」をイメージ・キャラクターに起用した「野菜をおいしくシーチキン」キャンペーンの奏功、びんなが鮪を原料とした期間限定の「一本釣り」シリーズの発売、新容器「やさし〜る」を採用した水煮製品の販売好調などにより、売上高は前年同期比0.6%の減少にとどまりました。

「デザート」では、円安による他社輸入品の減少やテレビ番組等での紹介が増加したことにより、主力製品の「朝から」シリーズやパウチ製品の販売が好調で、売上高は同10.4%増加しました。

「パスタ&ソース」では、「ポポロスバ12.5」シリーズや「ナポリタンによく合うポポロスバ」を新発売したものの、主力製品である「ポポロスバ結束」シリーズや「サラスパ」の販売不振により、売上高は同8.1%減少しました。

「総菜」では、おかず・おつまみ缶詰がマスコミの注目を集める中で、新製品の「健康」パウチシリーズや「やんわか」シリーズ等の販売が増加しましたが、「シャキッとコーン」が前年を下回る販売となり、売上高は同3.0%減少しました。

「削りぶし・海苔・ふりかけ類」では、「サラダ専用」シリーズ・「かみきれ〜る」等の差別化製品の販売促進

を強化しましたが、主力製品である「味付けのり」等は他社の廉価製品やPB製品の増加により、販売数量が減少し、売上高は同15.7%減少しました。

「ギフトセット・その他食品」では、包装米飯がシニア層をメインターゲットにした「やんわかごはん」を中心に堅調に推移しましたが、ギフトセットが苦戦し、売上高は同4.4%減少しました。

「業務用食品」では、大手CVS・外食ユーザーに新規メニューが採用されたことや、新規ユーザーの開拓が進んだことにより、売上高は同4.6%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、販促費を削減した輸入品のペットフードの販売が低迷しましたが、相場が上昇したフィッシュミールの売上高が増加したことにより、売上高は同0.6%減少にとどまりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間に対し98百万円増加して8億29百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の収入1億83百万円に対し1億29百万円減少して53百万円の収入となりました。この減少の主な要因は、仕入債務の増加やたな卸資産が減少したものの、売上債権の増加や未払金および法人税等の還付額の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の支出7億80百万円に対し27億13百万円増加して19億32百万円の収入となりました。この増加の主な要因は、投資有価証券の売却による収入によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の収入4億43百万円に対し24億72百万円減少して20億29百万円の支出となりました。この減少の主な要因は、借入金(純額)の減少によるものです。

## (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (3) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、87,367千円です。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	82,600,000
計	82,600,000

###### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,650,731	20,650,731	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	20,650,731	20,650,731	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	20,650,731	—	1,441,669	—	942,292



## (6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
公益財団法人はごろも教育研究奨励会	静岡県静岡市清水区辻 1-1-1	8,783	42.53
後藤康雄	静岡県静岡市清水区	1,300	6.29
はごろも高翔会	静岡県静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	1,280	6.19
株式会社静岡銀行	静岡県静岡市葵区呉服町 1-10	583	2.82
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町 1-13-2	583	2.82
はごろもフーズ従業員持株会	静岡県静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	354	1.71
後藤清雄	静岡県静岡市駿河区	312	1.51
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋 2-5-2	300	1.45
木内建設株式会社	静岡県静岡市駿河区国吉田 1-7-37	270	1.30
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町 1-2-1	209	1.01
計	—	13,976	67.68

(注) 上記のほか、自己株式が1,819千株あります。

## (7) 【議決権の状況】

## ① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株) 普通株式 1,819,000	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 18,732,000	18,732	—
単元未満株式 (注)	普通株式 99,731	—	1単元 (1,000株) 未満の株式
発行済株式総数	20,650,731	—	—
総株主の議決権	—	18,732	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式135株が含まれています。

## ② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
(自己保有株式) はごろもフーズ株式会社	静岡県静岡市 清水区島崎町151	1,819,000	—	1,819,000	8.80
計	—	1,819,000	—	1,819,000	8.80

(注) 第2四半期会計期間末日現在の自己株式数は1,819,135株です。

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

なお、役職の異動は、次のとおりです。

### 役職の異動

新役職および職名	旧役職および職名	氏名	異動年月日
取締役副社長 社長補佐兼 業務改革担当	取締役家庭用営業部長	池田 憲一	平成25年7月1日
常務取締役販売本部長兼 家庭用営業部長	常務取締役販売本部長	石神 章兆	平成25年7月1日

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しています。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人双研社による四半期レビューを受けています。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	872,361	829,111
受取手形及び売掛金	12,020,777	13,477,028
商品及び製品	6,048,312	5,710,021
仕掛品	146,728	141,927
原材料及び貯蔵品	3,235,909	3,551,825
その他	2,227,907	2,183,662
貸倒引当金	△1,586	△1,845
流動資産合計	24,550,410	25,891,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,867,268	4,695,257
土地	4,618,598	4,582,611
その他(純額)	3,006,105	3,044,608
有形固定資産合計	12,491,971	12,322,477
無形固定資産		
	359,246	374,179
投資その他の資産		
投資有価証券	9,669,584	6,228,282
その他	322,752	272,051
貸倒引当金	△24,448	△21,644
投資その他の資産合計	9,967,887	6,478,689
固定資産合計	22,819,104	19,175,347
資産合計	47,369,515	45,067,079
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,947,596	12,547,796
短期借入金	3,400,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,340,000	280,000
未払金	4,513,379	2,381,879
未払法人税等	9,262	773,234
売上割戻引当金	23,277	93,182
販売促進引当金	4,954	1,105,214
賞与引当金	328,602	337,783
その他	569,307	610,523
流動負債合計	22,136,379	19,229,614
固定負債		
長期借入金	1,560,000	3,050,000
退職給付引当金	698,435	714,232
役員退職慰労引当金	626,378	646,407
資産除去債務	16,463	16,628
その他	2,661,676	1,620,502
固定負債合計	5,562,952	6,047,770
負債合計	27,699,332	25,277,384

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,429	942,429
利益剰余金	15,384,437	17,595,385
自己株式	△2,149,064	△2,150,436
株主資本合計	15,619,471	17,829,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,372,584	2,207,387
繰延ヘッジ損益	119,618	△5,914
為替換算調整勘定	△441,491	△240,826
その他の包括利益累計額合計	4,050,711	1,960,646
純資産合計	19,670,182	19,789,694
負債純資産合計	47,369,515	45,067,079

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	38,114,419	37,597,170
売上原価	25,845,393	25,947,388
売上総利益	12,269,026	11,649,781
販売費及び一般管理費	※1 13,073,892	※1 11,741,401
営業損失(△)	△804,866	△91,619
営業外収益		
受取利息	183	107
受取配当金	140,793	148,521
持分法による投資利益	25,815	68,602
受取手数料	179,317	182,415
その他	109,334	113,937
営業外収益合計	455,445	513,582
営業外費用		
支払利息	23,261	25,715
売上債権売却損	8,412	7,139
貸貸収入原価	34,386	35,238
たな卸資産処分損	2,153	822
その他	10,847	10,230
営業外費用合計	79,060	79,147
経常利益又は経常損失(△)	△428,482	342,816
特別利益		
固定資産売却益	449	68,802
投資有価証券売却益	—	2,728,480
補助金収入	174,035	—
特別利益合計	174,484	2,797,283
特別損失		
貸倒引当金繰入額	304	—
固定資産除却損	18,917	7,991
減損損失	※2 202,301	—
投資有価証券売却損	—	3,748
投資有価証券評価損	202	—
ゴルフ会員権売却損	—	1,000
特別損失合計	221,725	12,739
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△475,722	3,127,360
法人税等	△54,776	775,165
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△420,945	2,352,194
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△420,945	2,352,194

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△420,945	2,352,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△322,799	△2,165,196
繰延ヘッジ損益	△63,445	△125,532
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,254	200,665
その他の包括利益合計	△387,499	△2,090,064
四半期包括利益	△808,445	262,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△808,445	262,129
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△475,722	3,127,360
減価償却費	736,127	593,498
減損損失	202,301	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△562	△2,545
その他の引当金の増減額(△は減少)	1,178,229	1,215,172
受取利息及び受取配当金	△140,977	△148,628
支払利息	23,261	25,715
為替差損益(△は益)	2,031	195
持分法による投資損益(△は益)	△25,815	△68,602
売上債権の増減額(△は増加)	371,881	△1,456,250
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,108,454	△84,066
仕入債務の増減額(△は減少)	△850,398	600,200
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2,724,732
補助金収入	△174,035	—
未払金の増減額(△は減少)	△976,906	△1,415,607
その他	706,568	285,783
小計	△532,472	△52,507
利息及び配当金の受取額	140,629	148,279
利息の支払額	△22,773	△23,299
法人税等の支払額	△9,379	△28,494
法人税等の還付額	433,093	9,876
補助金の受取額	174,035	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	183,132	53,854
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△470,304	△979,915
投資有価証券の取得による支出	△295,475	△8,282
投資有価証券の売却による収入	—	2,818,348
貸付金の回収による収入	2,749	3,918
その他	△17,923	98,056
投資活動によるキャッシュ・フロー	△780,953	1,932,124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	800,000	△2,300,000
長期借入れによる収入	—	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△1,270,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△15,356	△16,463
自己株式の取得による支出	△116	△1,371
配当金の支払額	△141,254	△141,246
財務活動によるキャッシュ・フロー	443,272	△2,029,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,952	△147
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△156,501	△43,249
現金及び現金同等物の期首残高	886,800	872,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 730,299	※ 829,111



【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
販売奨励金	7,187,933千円	6,672,565千円
販売促進引当金繰入額	1,164,428	1,100,260
広告宣伝費	554,003	123,399
荷造運賃	1,037,798	1,013,142
給料及び手当	837,967	736,669

※2 減損損失

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当社グループは、事業用資産については主として管理会計上の事業区分にもとづく製品群をキャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、また、重要な賃貸資産および遊休資産については個別の物件ごとにグルーピングを行い、以下の資産グループについて減損損失を計上しています。

場所	用途	種類	減損損失
静岡県焼津市	事業用地	土地	202,301千円

上記事業用地は、地価が著しく下落しているため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しています。なお、回収可能価額は正味売却価額を使用し、不動産鑑定価額により評価しています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	730,299千円	829,111千円
現金及び現金同等物	730,299	829,111

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成24年6月28日の第83期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,254千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成24年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成24年6月29日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

平成24年11月12日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,253千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成24年9月30日
(ニ) 効力発生日	平成24年12月5日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成25年6月27日の第84期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,246千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成25年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成25年6月28日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

平成25年11月12日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,236千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成25年9月30日
(ニ) 効力発生日	平成25年12月5日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)および当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントのため、記載を省略しています。

(金融商品関係)

投資有価証券、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、未払金、未払法人税等、長期借入金、デリバティブ取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

前連結会計年度(平成25年3月31日)

科目	連結貸借対照表計上額 (千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1)投資有価証券			
その他有価証券	8,738,552	8,738,552	—
(2)短期借入金	3,400,000	3,400,000	—
(3)1年内返済予定の長期借入金	1,340,000	1,340,000	—
(4)未払金	4,513,379	4,513,379	—
(5)未払法人税等	9,262	9,262	—
(6)長期借入金	1,560,000	1,549,119	△10,880
(7)デリバティブ取引(※)	190,505	190,505	—

(※)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しています。

当第2四半期連結会計期間(平成25年9月30日)

科目	四半期連結貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1)投資有価証券			
その他有価証券	5,031,787	5,031,787	—
(2)短期借入金	1,100,000	1,100,000	—
(3)1年内返済予定の長期借入金	280,000	280,000	—
(4)未払金	2,381,879	2,381,879	—
(5)未払法人税等	773,234	773,234	—
(6)長期借入金	3,050,000	3,037,365	△12,634
(7)デリバティブ取引(※)	(9,418)	(9,418)	—

(※)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については( )で示しています。

(注)1. 金融商品の時価の算定方法

(1)投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっています。

(2)短期借入金、(3)1年内返済予定の長期借入金、(4)未払金、(5)未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(6)長期借入金

元利金の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しています。

(7)デリバティブ取引

取引先金融機関から提示された価格等にもとづき算定しています。

2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区分	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
非上場株式	88,750	88,304

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「(1)投資有価証券」には含めていません。

(有価証券関係)

その他有価証券で時価のあるものが、企業集団の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

前連結会計年度 (平成25年3月31日)

その他有価証券

	取得原価 (千円)	連結貸借対照表計上額 (千円)	差額 (千円)
株式	2,050,756	8,738,552	6,687,795

(注)非上場株式 (連結貸借対照表計上額 88,750千円) は市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難とみとめられるため「その他有価証券」には含めていません。

当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)

その他有価証券

	取得原価 (千円)	四半期連結貸借対照表 計上額 (千円)	差額 (千円)
株式	1,678,403	5,031,787	3,353,383

(注)非上場株式 (連結貸借対照表計上額 88,304千円) は市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難とみとめられるため「その他有価証券」には含めていません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額 (△)	△22円35銭	124円90銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額 (△) (千円)	△420,945	2,352,194
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期 純損失金額 (△) (千円)	△420,945	2,352,194
普通株式の期中平均株式数 (株)	18,833,920	18,831,957

(注)当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。なお、前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

(製品の自主回収)

当社製品「シーチキンマイルド」シリーズを食されたお客様より、「味に違和感を感じた」とのお申し出があり、当該製品を検査した結果、当社基準値を上回るヒスタミンを検出しました。つきましては、万全を期するため当該製品の自主回収を行なうことを決定し、平成25年10月11日より当社ホームページおよび新聞への社告掲載等を通じて発表しました。

これにともなう第3四半期連結会計期間以降の業績等への影響額については確定していません。

## 2 【その他】

平成25年11月12日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しています。

(イ) 中間配当による配当金の総額 141,236千円

(ロ) 1株当たりの金額 7円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日および支払開始日 平成25年12月5日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月 8日

はごろもフーズ株式会社

取締役会 御中

監査法人双研社

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 木本 恵輔 ㊞

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 貴志 豊 ㊞

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。